

# 泉の自治だより

発行所 泉自治区連合会  
発行責任者 連 区 長  
事務局 (泉公民館内)  
土岐市泉町中竈町  
TEL 55-3653

No. 9

心にきざまれるひとこと

夢をもちつづければ  
必ず実現する時が来る

ゲーテ (ドイツの文豪)

## 活性化の起爆剤になるか

### 仮称

### 「産業文化振興センター」のこころ

(議会、文教経済常任委員長)  
山内 達彦

「仮称」産業文化振興センター、全容を発表、今秋より約二十八億を投じて着工の運びとなる。幾年月の論議を経て議決されたこの建物が見事、土岐市の顔の一部となり、駅周辺再開発事業と連動され土岐市の玄関口として活性化の起爆剤となり得るかが期待される。以下文教委員長として活躍される山内市議員に資料を提供して頂いたので詳細を公開します。

### 建設に向った

「産業文化振興センター」千余年の伝統に培われた陶磁器産業に加えて、新たな産学共同研究学園都市志向を定めた土岐市であります。

当センター施設は、二十

一世紀の展望に立った、産業及び地域活性化を使命に広く市民の夢と期待を現実につなぐ、活動「拠点づくり」に向けて、平成元年後半着工を予定し、同年三月完成と定め、いま、最終設計が急がれているところでありお礼申し上げます。

ります

二〇〇〇平方米のホールを備える、県下屈指の殿堂は、躍進する本市の戦略投資と歓迎する反面、六万五千の土岐市民にとって、並々ならぬ側面も、この思いは杞憂にしたいくないものです。

市民総参加の実を挙げるため、できるだけ早く、計画の詳細を広報で紹介するなど、今後の運営、経営にも幅広い市民各層の意見、提言が生かされることを願って止みません。

ここに、議会へ提出された「修正後の施設の概要」の一部整理し、別表で紹介し、拙文を措きますが、今日までに寄せられた多くの貴重なご意見、ご指導に対して、紙面をかり、衷心よりの振興向上等のため市民交流活動の場の提供。

### 「仮称」産業文化振興センター 計画の概要

説明内容略す

### 役割と機能

1. 陶磁器産業界の組織、体質強化のため販路拡大拠点づくり。
2. 土岐市駅周辺活性化の担い手。
3. 予想される国際化への対応。併せて文化、スポーツの振興向上等のため市民交流活動の場の提供。

### 6項目対策のあらまし

1、アクセス道路及び交通安全対策について

①当面の施策

- (イ)施設周辺に歩道(プロムナード)を設ける。
- (ロ)大型車通行の障害物等の撤去(電柱、交叉点偶切り)
- (ハ)大規模催事には駐車場の分散確保で専用バス送迎体制とする。
- (ニ)又、誘導標識の設置、交通係員配置を行なう。
- (ホ)公共交通機関の利便をPRし、その利用を呼びかける。

②中期施策(おおむね5年をめど)

- (イ)大富浅野線完成(平成6年4月予定)により、国道21号、19号と泉道河合、多治見線とアクセス道路とし、肥田地域駐車場(導入は便となる)。

③長期施策(5年以上)

- 本館 鉄筋コンクリート造5階建(一部鉄骨造)延床面積九、〇〇二㎡
- 2階建駐車場一五〇台
- 二〇〇台
- 自転車置場
- 3. 配置計画 小川、墳水等を設け、小公園風プロムナード(歩道、や空間は開かれた市民の憩の場提供)。
- 4. 建物平面計画「会合の場」「見る場」「勉強の場」「交流の場」に分類される。

次に完成図  
各階平面図・周辺の駐車場等、整備計画をのせます。

「市民の関心が高く、元年度、二年度を通じ、本市最大のプロジェクトであることにかんがみ、できるだけ市民理解を深め、議会と執行部の意思疎通を図るため努力をしたわけですが、七億九千九百五十万円の仮称「産業文化振興センター」の建設予算(二ヶ年継続)が開始することになったのであります。

「難産の教訓」  
顧りみまず、昭和六十二年始め、国の特例事業への要望以来、二年有年月、多くの物議をかもした市民病院跡地利用問題はその間、担当部門職員の見直し、情熱を傾けた研究努力と、議会側の中広い市民合意の形成を優先第一とし、市民、議会、行政の共通認識を模索した二十三回の及ぶ産学センター審議のため各種会合の努力の産物から、正に特筆すべき教訓事例として「心算やか」を感ずるものです。

このことは、市民負担の重さを感じ、市民の期待と希望を結ぶ施設づくりの大切さを思い、そこに感性豊かな市民が躍動し、永く愛され、受けつがれる都市のシンボルづくりのための、ひとすじの道であったかとも思います。

「これら諸点を鮮明にするため執行部は最大限努力を……」改めて「議会側の了承を受け、その後、予算の実施に当る」との、市長の答弁があり、一方「議会はこの事業が時限立法的な特例措置で、本市の多面的活性化を願ったものであることに理解し……」

以上は去る三月二十七日定例市議会における文教経済常任委員長の「産業文化振興センター」予算審査報告の要旨であります。

主婦の店

営業時間のご案内

土岐本店	☎54-1234 AM 9:30~PM 8:00
駅前店	☎54-1814 AM 10:00~PM 7:00
定林寺店	☎54-5795 AM 10:00~PM 7:00
サンマート	☎55-1234 AM 10:00~PM 9:00
サンモール	☎55-1117 AM 10:00~PM 11:00
トーエー	☎59-8203 AM 10:00~PM 7:00
ファミリーレストラン	☎55-5335 AM 11:00~PM 10:00
カフェジョアンナ	☎23-7474 AM 9:00~PM 12:00
季節料理・しゃぶしゃぶ庵	☎55-1118 AM 11:00~PM 10:00

三起屋ファミリーカード会員募集中!!

特典

- ① 5%のご優待割引 (食品は除外) 但し、食品についてもカードの使用はできます。
- ② 特別御優待セールへご案内
- ③ 恵那峡ランド・かわいボーリングセンター・多治見大映入场券特別割引

くわしくは 1F・3F サービスコーナーへ

三起屋百貨店

土岐市泉町久尻42-11  
TEL 0572-55-5011



# 住みよい河合区に



河合区長  
水野 伸一

皆様には自治会の諸活動に多大なる御支援御協力を賜わり心より厚く御礼申し上げます。

平成元年意義ある年に河合区長を仰せつかり責務の重さを痛感致しておりますが歴代の区長並びに諸先輩の皆様が築いてこられた道を汚す事なく浅学菲才な私ですが努力して住みよい街づくりに全力を尽くしますので区民の皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

昭和三十六年六月三日に請願、陳情書が市議会に提出され河合駅(仮称)設置にむけ昭和六十三年十月二十八日に河合駅設置促進期成同盟会が設立され委員の方々が丸となって運動をして頂いておりますが設置についてはまず建設用地となりますが、区画整理問題は昭和六十三年六月、河合区画整理準備研究委員会が結成され委員会に諮問され平成元年三月委員会より答申された答申原文を簡略しまずと農業後継者もなく、国の減反政策により耕作面積が年々減少し道路側の農地の宅地化が進み生活排水が田に流れこんで困るとの

に色々な研究をされるようですが、その施設の設備に對してはまだ泉町河合区には正式な申し入れはありますが、ありましたら区民の皆様と関係者を招いて研究会を開きたいと考えております。以上当面の問題にスポットをあてお話をしましたが、皆様のご理解、ご支援、ご協力をお願いしてご挨拶いたします。

# 教育の道



土岐市教育委員長  
米川 正一

泉町自治区連合会の機関紙「泉の自治だより」が発刊されてから三年目を迎えた訳ですが、甲川さんを中心とした強力スタッフが鋭意取材に編集に努力を続けて居られる事に對し深く敬意と感謝を申し上げる次第です。

平成元年度の申請送り事項は十一項目ありましたが大きな問題としては、私は河合駅(仮称)設置の件とおもいます。



名、片仮名を読み書きして生活を続けるのです。基礎学力をつける授業展開の為、教育長を中心とし校長会、教頭会等で色々と研究討議され、これから実践して頂く訳ですが、直接子供達を授業して頂く先生方が持っている力を最大限に発揮され、徐々に学力がレベルアップされることを大きく御期待申し上げて居る所であります。

# 泉町の環境整備を目指して (土木要望事項編)

- 本年度も行政への土木要望事項の提出資料をまとめてみた。区単位に「らん」出来る様に自治だよりに掲載してこの8月下旬には本年実行出来る項目、次年度に繰り越される項目等を泉市議団代表の矢島成剛氏に整理解答して頂く様に依頼したので逐次ご案内をしてゆきたい。
- 各区単位の要望事項をそれぞれ町ごとにナンバーで科目整備をしましたので分りやすく解答を整理出来るようになっています。
  - 今年度実行分、次年度くりこし分、県、国の科目等に仕訳出来て平成二年度の参考になるかと思えます。
- 西本町(一)
- 1、河川内清掃(除草)
  - 2、西本町12-15上流中央橋の中間
  - 3、小橋の間伊野川内
- 西本町(二)
- 1、道路拡張 駅西側踏切
  - 2、南側渠道
  - 3、道路塗装 町内全域
  - 4、伊野川川底の清掃
  - 5、歩道設置、拡巾 中央
  - 6、公園整備 榎木公園内
- 西本町(三)
- 1、歩道設置、拡巾 中央
  - 2、防火用水補修 本藤菘
- 西本町(四)
- 1、警備防犯灯
  - 2、園原利市宅前
  - 3、曾根春己宅工場前
  - 4、関口かね宅前
  - 5、小田川豊宅前
  - 6、石井孝和宅横
- 西本町(五)
- 1、道路踏切
  - 2、西踏切下の
  - 3、点滅信号 永久橋北交差点
  - 4、公園の整備 新土岐津西公園の代替地
  - 5、歩道の設置 永久橋
  - 6、水路の改修 旧駄知線にそった南側の側溝
- 西本町(六)
- 1、警備防犯灯
  - 2、園原利市宅前
  - 3、曾根春己宅工場前
  - 4、関口かね宅前
  - 5、小田川豊宅前
  - 6、石井孝和宅横

カーライフプラン

●お手伝いします。あなたのカーライフ!!

自家用車の購入・買替えに手軽なカーライフプランをぜひご利用ください。

いつも、あなたのとなりです。

**東濃信用金庫**

土岐市駅前支店・泉支店・北山出張所

---

土地・建物・アパート・マンション・貸店舗  
売買・仲介・コンサルタント業務全般

宅地建物取引業 (岐阜県宅地建物取引業協会会員  
社団法人全国宅地建物取引業保証協会会員)

大和ハウス工業株式会社特約店  
住友海上火災保険株式会社代理店  
岐阜県行政書士会会員(鷺津眞澄)事務所

有限会社 **ワシズ経営事務所**

代表取締役 **鷺津 昇**

岐阜県土岐市泉梅の木町1丁目13の2  
〒509-51 TEL (0572) 54-1030(代)  
FAX (0572) 54-5636  
夜間 (自宅) TEL (0572) 54-3094

# 泉町の向上を求めて

一町民

泉町は発展して来た町である。地理的、産業的に恵まれていて、泉町は、それ自体の歩みをつけていることが出てきた。

戦前泉町の財政力は、土岐津町の三倍、旧可児郡一円にも匹敵すると言われた。しかしながら学校や役場は土岐津町の方がはるかに立派であった。土岐津町は何かやろうとすると、一点に集中した。泉町は力があるに拘わらず、各自の商売の発展にむけられ、何事もまともならず、土岐津町に甘んじ、泉町の所在を説明するのには皆が苦勞したものであった。

泉町自身、かくの如く図体は大きい、誠の中味は貧弱で、今すべての形が立派になってきたのは、恥かしなことで、土岐市になってから円になつてはならぬか。

市になつてからは、泉町は何かをやらせられ、市合の中心は相かわらず、市合併以前の姿が、今になつても持ちつづけられているのではなからうか。

選挙をやってみると、人口に比して市議員の数が少ない。そして地元市議会

員の見解が、この地元に関心してはなかなかまともな意見がそのつど、充分に反映されて来たであろうか。泉町の現状では地元の意見が反映しにくい。過去の歩み、そして現状からみてそれを願つても無理ではないだろうか。

このままでは泉町百年の計を案やまることがない。発展していく泉町のビジョンづくりの組織が必要ではなからうか。そこで得たビジョンにより各組織、各分野がやっつけなければならない。

現在、泉町の向上を願つて、他町に例を見ない「泉の自治だより」が非常な努力により発行されている。泉町の現状にかんがみ、泉町の向上の組織づくりを願つて、あえて提言したい。

日頃我々が使われていない定林寺の地名には、素晴らしい由緒歴史のあることをこの際しっかりと見つけなおしてみたい。

昔も定林寺の地は、昔は川井村の名もなき一隅であったが、その後発達して下川井村となつた。この地に土岐氏中興の祖といわれる土岐頼貞が、お寺を創建して、父光定の子三十三回忌の法要をいとなんだこと

の祖師と言われるあの有名な「だるま大師」のゆかりの名刺である。又韓国の百濟の古都扶余にも定林寺があつた等、誠に由緒ある寺名といわなければならない。そして全国第八位にランクされた東西、南北各八百メートルにわたる壮大な寺が、約二十二年間にわたって造られた。その後約七十年間、名僧、高僧によって守られて来たのである。

しかしながら名刺定林寺も、戦国の代の永祿元年、甲斐の武田信玄の家臣秋山伯耆守が東美濃に侵入し、その部将仁村藤九郎なるものによって焼かれ、ついに

## 泉の歴史シリーズ

### 定林寺を偲んで

幕をとじたのである。現在は寺院の遺跡、屋根瓦、墓碑、石造物等の当時を物語るよすがは何物もなく、わずかにきたま堀り出される黒ずんだ土台とおぼしき石と、地名にのみそれを知ることが出来る。

定林寺は頼貞が、深く禅宗に帰依し、時の執権北條時宗が中国から招いた無学祖元にたのんで造つたものである。その祖元は自分の開いた鎌倉の円覚寺に模して造つたとも考えられるので、その円覚寺の境内に現在残されている地名を織り込み、定林寺の想像図を考えてみた。(紙面の都合で

られて来たが、市の考えのままのようである。地元の意見がそのつど、充分に反映されて来たであろうか。泉町の現状では地元の意見が反映しにくい。過去の歩み、そして現状からみてそれを願つても無理ではないだろうか。

このままでは泉町百年の計を案やまることがない。発展していく泉町のビジョンづくりの組織が必要ではなからうか。そこで得たビジョンにより各組織、各分野がやっつけなければならない。

現在、泉町の向上を願つて、他町に例を見ない「泉の自治だより」が非常な努力により発行されている。泉町の現状にかんがみ、泉町の向上の組織づくりを願つて、あえて提言したい。

## 「ふるさと泉」だより

いよいよ出版近し

平成元年三月、四か月の計画をもって編集に入りまして、そして次の如き歩みを続けて来ました。

- 一・一三 第一回編集会議
- 二・二三 第二回編集会議
- 三・三〇 第三回編集会議
- 四・一八 第四回編集会議
- 五・二八 第五回編集会議
- 六・二五 第六回編集会議
- 七・二五 第七回編集会議
- 八・二五 第八回編集会議
- 九・二五 第九回編集会議
- 十・二五 第十回編集会議

あけぼの 林 力男  
 六・一四 第十一回編集会議  
 六・一九 第十二回編集会議  
 六・二五 全体編集  
 六・二五 全員会議

執筆者 編集委員  
 文体委員  
 加藤正己  
 誤字、脱字、句読点をし  
 らべる文体委員会は、五月六日以降十数回にわたつて開き、時には深夜におよぶこともありまして、以上の経過をへて、全体の編集を終り、印刷にまわりました。十月出版という段階になりました。如何にして皆さんによるこんで読んで頂けるかを考えた全くあわただしい四か月でした。八月には出版部数により頒布価格も異なります。

三十数名の執筆者の一年有半にわたる努力により、

郷土の香のふんぶんなる郷土誌が出来上りました。編集をしながら、絶対推奨の出来る自信を深めました。限定出版です。一般販売は致しません。

八月には町内会にお願いして隣保班長さんを通じて予約をとらせて頂きます。この機会を逸すと、後から欲しいと言われる間に合いません。その時には他地域に居られる親類縁者を含めて、洩れなく申込みをして頂きますようお願い致します。

編集責任者 田中 鈴夫

## お酒と税

国税局・税務署

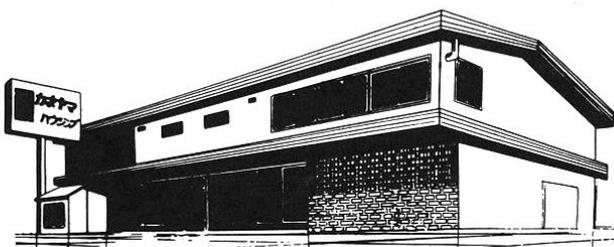
仕事を終わって生ビールで乾杯、一日の疲れを忘れさせるひとときですね。昨年の夏場(6月〜8月)に東海四県下のビールの販売数量は、成人一人当たり大瓶で約35本飲んだ計算になるそうです。

ビールに限らず、お酒にはいろいろな種類がありますが酒税の対象となるお酒は、アルコール分一度以上の飲料で清酒や焼酎、ウイスキーなど10種類に分類されています。

 清酒一級1.8 l びん詰 小売価格 1,750円 税額 332円 負担割合 19.0%	 焼酎乙類1.8 l びん詰 小売価格 1,170円 税額 127円 負担割合 10.9%
 ビール(大ビン) 小売価格 300円 税額 132円 負担割合 44.0%	 ウイスキー750ml びん詰 小売価格 2,870円 税額 792円 負担割合 27.6%

(注)各酒類の小売価格は、一般的な価格(消費税込)によるものです。

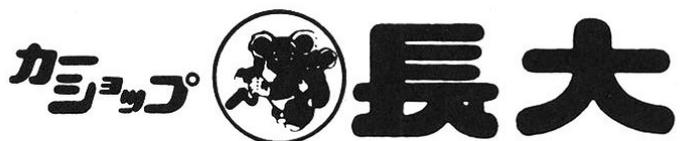
豊かな住まいづくりと暮らしをご提案!



## カネヤマハウジング

〒509-51 土岐市 泉森下町 2  
 TEL (0572)54-3195(代) FAX (0572)54-8451

よって長大! みて長大! かって長大!



営業時間

AM 9:30  
 PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62  
 TEL 55-1844